

大阪府 放課後子どもプラン実践事例集



大 阪 府
大阪府教育委員会

事例集発行に当たって

大阪府では、国が平成 19 年度より創設した「放課後子どもプラン」を踏まえ、地域社会の中で、子どもたちが放課後や週末等の安全・安心な居場所において健やかに育まれるよう、教育委員会が所管する「教育コミュニティづくり推進事業」の中の活動の一つである「おおさか元気広場」と、福祉部が所管する「大阪府放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）」の 2 事業の充実を図ると共に、両事業の連携を進めています。

連携の推進に当たっては、平成 21 年度に放課後子どもプラン推進委員会を設置し、委員が自ら地域の特色ある取組みの訪問取材を行うケーススタディを積極的に実施しながら、大阪府における総合的な放課後対策事業の在り方について協議を重ねてきました。

このようなケーススタディで収集した事例を中心とする、府内の 19 の優れた取組みについて、その概要やポイント、子どもや支援者の声等を紹介し、活動のさらなる充実をめざす各広場・クラブの参考としていただくため、このたび「大阪府放課後子どもプラン実践事例集」を作成いたしました。この事例集を活用いただくことにより、各市町村及び元気広場、放課後児童クラブ、支援学校等における活動がさらに充実したものとなれば幸いです。

「よき指導者はよき傾聴者」と言われるように、子どもは、自分の存在を認め、話をよく傾聴してくれる「人」を求めています。そのような人が居る場こそ、子どもが安心して過ごすことができるよき居場所となり、子どもたちの豊かな成長に大きな役割を果たします。2つの事業の連携により、このような子どもと大人とのつながり「ナナメの関係」がさらに深まり、子どもたちの生きる力が豊かに育まれます。

「放課後子どもプラン」の取組みが子どもたちにとっても大人にとっても、豊かな出会いの場や学びの場となり、そのような出会いとつながりの積み重ねが地域コミュニティの一層の活性化につながっていくことを祈念いたしております。

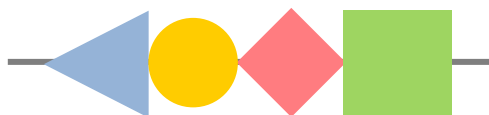
最後になりましたが、この事例集の作成にあたり、貴重なご意見・ご提言をいただきました大阪府放課後子どもプラン推進委員会並びに市町村、関係者の皆様に心からお礼申し上げます。

平成 25 年 4 月

大阪府教育委員会事務局市町村教育室
地域教育振興課長 吉原 孝

大阪府福祉部 子ども室
子育て支援課長 森田 正典

もくじ







この事例集の使い方	3
-----------------	---

取組み編

I 放課後子どもプランについて	7
II 大阪府の放課後子どもプラン	8
1 おおさか元気広場	8
2 大阪府放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）	9
3 おおさか元気広場と放課後児童クラブの比較	10
4 大阪府放課後子どもプラン推進委員会	11
5 研修等の実施	12
6 情報の発信	13

事例編

事例編 もくじ	17
 元気広場と放課後児童クラブとの連携（6 事例）	18
 支援の必要な児童の参加（5 事例）	24
 特色ある体験活動（5 事例）	29
 放課後の学習支援（3 事例）	34

参考資料

1 大阪府放課後子どもプラン推進委員会からのメッセージチラシ	39
2 参考様式例	40
講師ボランティア登録・募集用紙（岸和田市放課後子ども教室）	
子どもの登録申込書（茨木市立太田小学校区太田さくらクラブ）	
放課後子ども教室参加カード（郡小学校区放課後子ども教室）	
3 府内市町村担当課一覧	44

この事例集の使い方

●この事例集の使い方

本事例集は、取組み編、事例編、参考資料の3部により構成されています。

活用にあたっては、最初から通して読まなくとも、どこから開いても活用していただけるよう、巻頭だけでなく、事例編の最初にも「もくじ」を用意していますので、必要に応じて参考となるところをお読みください。

取組み編

文部科学省の「放課後子ども教室」（大阪府においては「おおさか元気広場」と呼ぶ）と、厚生労働省の「放課後児童健全育成事業」（放課後児童クラブ）を連携して実施するのが「放課後子どもプラン」です。

本編では、放課後子どもプランの仕組みや府の取組みの現状、おおさか元気広場と放課後児童クラブとの比較、両事業の連携の推進のため大阪府が設置している「放課後子どもプラン推進委員会」で話し合われた内容などをまとめています。

事例編

府内の特色ある取組みである19の事例について、4つの観点で整理し、紹介しています。

- ・元気広場と放課後児童クラブとの連携（6事例）
- ・支援の必要な児童の参加（5事例）
- ・特色ある体験活動（5事例）
- ・放課後の学習支援（3事例）

参考資料

次の3つの情報を掲載しています。必要に応じてご活用ください。

- (1)放課後子どもプラン推進委員会から、各市町村で活動する広場・クラブへ向けて発信したメッセージチラシ
- (2)市町村で実際に活用されている、子どもやボランティアの登録用紙や児童の参加カードの例
- (3)府内各市町村のおおさか元気広場担当課と放課後児童クラブ担当課の連絡先・ホームページアドレスの一覧

●この事例集のねらい

この事例集は、大阪府放課後子どもプラン推進委員会等により訪問取材を行った、放課後等の子どもの居場所づくりの特色ある取組みについて、活動の概要やポイント、子どもや支援者の声などを紹介することにより、放課後子ども教室や放課後児童クラブの活動の充実をめざすすべての方々の参考としていただくため、多くの関係者の皆さまの協力を得て作成したものです。

本事例集に収められた事例には、よりよい活動とするための様々な工夫が示されています。子どもが夢中になれる体験活動や学習支援の工夫、支援にあたる様々な人・団体との連携、おおさか元気広場と放課後児童クラブが互いにつながり合うための努力、誰もが活動に参加できるための配慮など、各事例には活動にたずさわる地域の方々の思いがこめられています。

子どもの安全で安心な居場所づくりを支える大人たちの熱い思いがある限り、それぞれの地域に根ざした優れた取組みが、これからも数多く展開されることでしょう。そのような取組みに学びながら、この事例集をよりよいものにしていきたいと考えています。



取組み編

I 放課後子どもプランについて

「放課後子どもプラン」は、地域社会の中で、放課後や週末等に子どもたちが安全で安心して、健やかに育まれるよう、文部科学省の「放課後子ども教室」と厚生労働省の「放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ・学童保育）」を連携して実施するものです。

子どもが犠牲となる犯罪・凶悪事件が相次いで発生し社会問題化したことや、子どもを取り巻く家庭や地域の教育力の低下が指摘される中、当時の文部科学大臣及び厚生労働大臣の両大臣が合意し、平成19年度に創設されました。

具体的には、放課後や週末等の子どもたちの適切な遊びや生活の場を確保したり（放課後児童クラブ）、小学校の余裕教室等を活用して、地域の方々の参画を得ながら、学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組みを実施（放課後子ども教室）するものです。

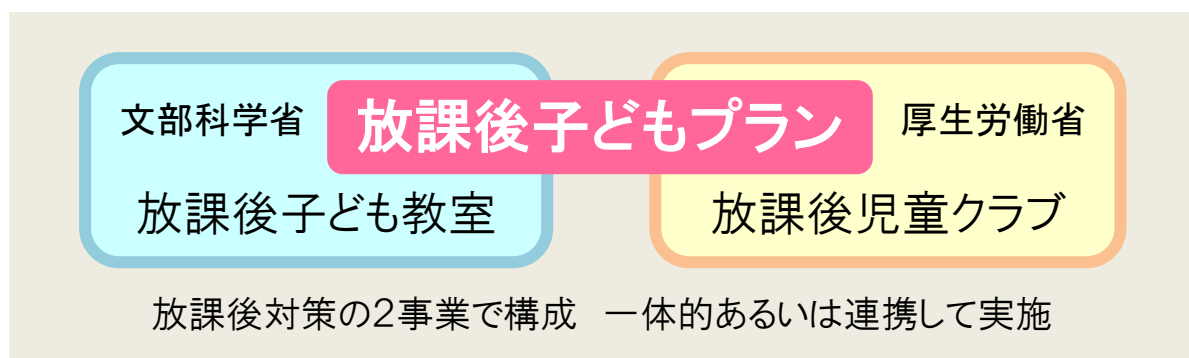
■「放課後子ども教室」【文部科学省】

すべての子どもを対象に、地域の方々の参画を得て、学習や様々な体験・交流活動、スポーツ・文化活動等の機会を提供する取組み

■「放課後児童健全育成事業」（放課後児童クラブ）【厚生労働省】

保護者が労働等により昼間家庭にいない概ね10歳未満の児童に、適切な遊び及び生活の場を提供

（文部科学省・厚生労働省ホームページ「放課後子どもプランの推進について」より）



Ⅱ 大阪府の放課後子どもプラン

大阪府では、国の放課後子どもプランを踏まえ、教育委員会事務局市町村教育室地域教育振興課が所管する「おおさか元気広場」と、福祉部子ども室子育て支援課が所管する「大阪府放課後児童健全育成事業」（放課後児童クラブ）を並行して実施すると共に、両事業の連携を図っています。

1 おおさか元気広場

大阪では、国の「放課後子どもプラン」における「放課後子ども教室」を「おおさか元気広場」と名付け、地域のすべての子どもを対象とする、放課後や週末等の安全で安心な居場所づくりを進めています。

実施にあたっては、小学校施設（余裕教室、校庭、体育館等）等を活用し、地域ボランティアの方々の参画・協力を得て、子どもの体験・交流活動や学習活動等、地域の実情に応じたさまざまな活動が行われています。

また、府事業として、小学部を設置する府立支援学校でも実施しています。

◆重点の取組み

おおさか元気広場では次の3点を重点として取り組んでいます。この事例集の〈事例編〉では、それぞれの特色ある取組みについて紹介しています。

重点1 学習支援の取組み

平成20年度から平成22年度まで、おおさか元気広場の中で子どもの学力向上と学習習慣の定着を図る「まなび舎キッズ」に取り組みました。平成23年度以降も、これまでの取組みをもとに、多くの地域で様々な放課後の学習支援が続けられています。

重点2 障がいのある子ども等、配慮を要する子どもの参加促進

障がいのある子どもの放課後の居場所づくりとして、市町村事業では、障がいのある子どもの居住地での活動への参加が進むような工夫をしています。また小学部を設置している府立支援学校においても、取組みを実施しています。

重点3 放課後児童クラブとの連携

同じ放課後等の居場所づくりの活動である、放課後児童クラブとの連携を進めており、元気広場へのクラブ在籍児童の参加などの取組みが行われています。

◆実施状況の推移・目標

年度	H19	H20	H21	H22	H23	H29 目標
実施小学校区数 /全小学校区数	302/530	393/528	446/527	473/528	459/526	全小学校区
実施府立支援学校数	16	15	16	20	20	全小・中学部 設置支援学校

※政令市・中核市を除く。H29目標値は、府教育振興基本計画の事業計画に基づく

2 大阪府放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

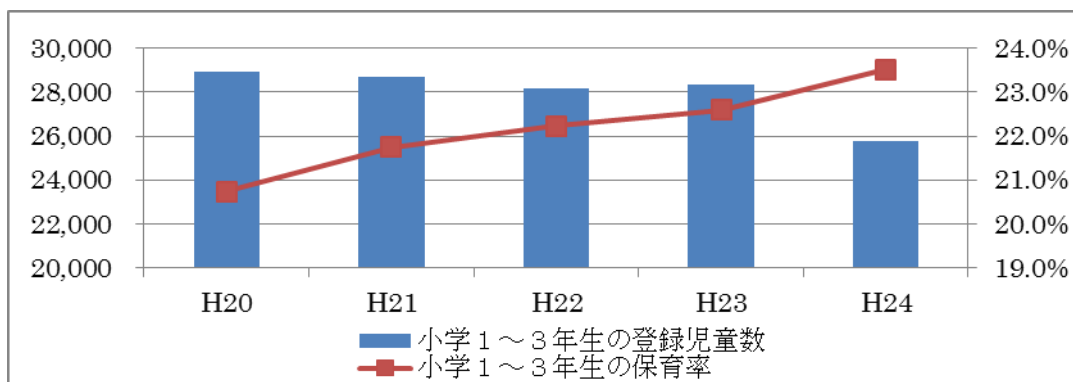
放課後児童健全育成事業とは、小学校に就学しているおおむね10歳未満の児童であって、その保護者が労働等により昼間家庭にいないものに、政令で定める基準に従い、授業の終了後に児童厚生施設等の施設を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業を行っています。

（1）実施状況の推移・目標

年度	H19	H20	H21	H22	H23	H26 目標
実施クラブ数	506	506	640	694	688	711
実施小学校区数	531	528	506	510	509	512

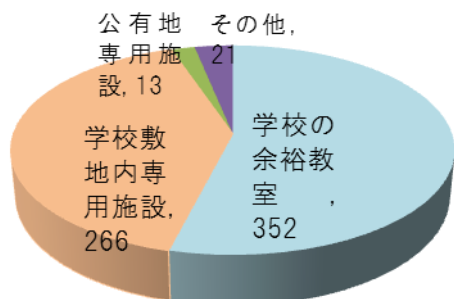
※放課後児童クラブは全ての市町村において実施（政令市・中核市を除く）
 ※H26 目標値は、大阪府子ども未来プランに基づく

（2）利用児童数



平成24年5月1日時点(政令市・中核市除く。H24から豊中市が中核市へ移行)

（3）実施場所



◎ 小学校内での実施が95%

平成24年5月1日時点
 (政令市・中核市除く)

（4）一日の流れ（例）

- 授業終了
- クラブへ登所(ただいま)
 - ・自由に宿題等
 - ・室内遊び(オセロ、折り紙他)
 - ・室外遊び(鬼ごっこ他)
 - ・おやつ(片づけ)
 - ・自由時間
- 概ね17時 帰りのあいさつ(集団下校など)
- (延長 読み聞かせ、室内遊びなど)
- お迎えなど
 (これは一例であり、望ましい過ごし方等を表したものではありません)

3 おおさか元気広場と放課後児童クラブの比較

	おおさか元気広場	放課後児童クラブ
担当課	教育委員会事務局 市町村教育室 地域教育振興課	福祉部 子ども室 子育て支援課
対象	地域のすべての子ども (児童を基本とし、生徒等の参加も可)	保護者が労働等により昼間家庭に いない児童 おおむね 10 歳未満 (小 1~小 3)
費用	無料 (保険、個人的な材料代等は実費負担)	月額 5,000 円程度の保護者負担 おやつ代等の実費負担 (ただし保護者からの徴収方法等 については市町村で判断)
実施日数 (利用可能 日数)	各広場が主体的に決定 ※ 年間平均 約 68 日	原則年間 250 日以上が補助要件 (平日、長期休暇、一部の土曜日の合計) ※ 年間平均 280 日程度
実施 か所数	37 市町 459 小学校区 ※ 全小学校数 526 校の約 87% 20 府立支援学校	38 市町村 651 クラブ (H24.5.1 時点) ※ うち公営は 637 クラブ
実施時間	授業日 2 時間程度 休業日 4 時間程度	授業日 3 時間以上 長期休業期間等 8 時間以上
スタッフ	安全管理員、ボランティア	放課後児童指導員の配置
活動の イメージ (例)	<p>子どもに関わる大人 平均約 6 人</p> <p>安全管理員、ボランティア</p> <p>※ コーディネーター：連絡調整役</p> <p>子ども約 40 人 小学 1 年生~6 年生</p> <p>【活動場所】 学校の余裕教室や校庭、体育館等</p> <p>【活動内容】 遊び・体験・交流・学び 等</p>	<p>専任指導員 2~4 人</p> <p>遊びを指導する者の資格を有する者 が望ましい (教員免許取得者、保育士資格等)</p> <p>子ども約 40 人 概ね小学 1 年生~3 年生 (支援学校小学部児童及び 小学 6 年生まで受入可)</p> <p>【活動場所】 専用室又はスペース</p> <p>【活動内容】 生活・遊び・体験 等</p>

※平成 23 年度現在 (特記した項目を除く)

4 大阪府放課後子どもプラン推進委員会

国における「放課後子どもプラン推進事業実施要綱」に基づいて、大阪府では、「大阪府放課後子どもプラン推進委員会」を立ち上げました。本委員会は、府内の各市町村（政令指定都市、中核市を除く）において実施される「おおさか元気広場」及び「大阪府放課後児童健全育成事業」の推進並びに、両事業の連携について関係者が協議し、総合的な放課後対策事業のあり方を検討することを目的としています。

◆これまでの大阪府放課後子どもプラン推進委員会の開催内容

第1回 平成21年10月29日開催

○ 協議内容

- ・推進委員の市町村における、両事業の連携状況について
- ・連携の効果と課題について
- ・障がいのある子どもの参加について 等

○ まとめ

- ・各地域での連携に向けた課題解決の工夫や先進事例を収集し、その解決方策やモデル事例の発信について検討することが必要。そのため、訪問取材や市町村での両事業の連携状況の実態把握のためのアンケート調査を実施
- ・連携を進めるために必要な研修について検討することが必要

第2回 平成22年2月19日開催

○ 協議内容

- ・連携状況アンケート結果を元にした両事業の成果と課題について
- ・訪問取材報告を受けて（1事例）
- ・障がいのある児童の参加について
- ・豊中市放課後子どもプランについて 等

○ まとめ

- ・連携を進める上で指導者同士の情報交換が重要であることを改めて確認
- ・連絡会等を活用したさらなる情報交換を市町村に働きかけていくよう提案
- ・HPや地区別研修会を通じ、先進的な取組みや推進委員会で議論されたことの発信を提案
- ・次年度、先進的な連携を進めている市町村の取組みについてのケーススタディを実施

第3回 平成23年2月8日開催

○ 協議内容

- ・訪問取材報告を受けて（6事例）
- ・効果的な連携方策について 等

○ まとめ

- ・両事業の連携には、連絡会議の定期的な開催などシステムの確立が必要。そのために何が

必要かという視点で引き続きケーススタディを実施

- ・委員会からの提言や連携の好事例等が現場に届くよう、情報発信の手法について検討
- ・連携のあり方について、両事業だけに限定せず、小学校区単位、中学校区単位など、地域コミュニティという観点からの検討も必要
- ・放課後児童クラブでも必要な家庭に対し家庭訪問を実施しているが、教育委員会等が推進する家庭教育支援も重要

第4回 平成24年2月8日開催

○ 協議内容

- ・訪問取材報告を受けて（4事例）
- ・推進委員会からの発信について（参考資料） 等

○ まとめ

- ・配慮が必要な子どもがごく自然に参加できているような取組みの情報収集と発信のため、引き続きケーススタディを実施
- ・事業間の壁を越えて異年齢の子どもたちどうしが一緒に活動することや、スタッフが互いに連携し合うことの大切さを発信するため、メッセージチラシを作成・配布
- ・委員会での協議内容やケーススタディ等をふまえ、放課後子どもプラン推進の取組みに係る「事例集」を作成



第5回 平成25年2月6日開催

○ 協議内容

- ・放課後子どもプラン実践事例集の内容、活用方法について

○ まとめ

- ・放課後子どもプランの推進と各地域での取組みの全体的な底上げが必要
- ・引き続き、先進的な連携を進めている市町村の取組みについてのケーススタディを実施
- ・府や市町村の研修会等での事例集の活用を促進

5 研修等の実施

◆ 合同担当者会

毎年4月に、各市町村の両事業担当者が参加する合同担当者会を開催しています。

大阪府と市町村が連携して放課後子どもプランの推進を図るため、府からの事業に係る情報提供や、事業担当者による情報交換、協議等を実施しています。



◆ ボランティア研修・放課後児童クラブ指導員研修

おおさか元気広場のボランティア及び放課後児童クラブ指導員を対象とする研修会を、府の主催により実施しており、両方の関係者が相互に参加することができるようにしています。

おおさか元気広場をはじめ、学校支援や家庭教育支援に参画するボランティアを対象とする研修会は、平成 24 年度は府内 4 か所で実施し、実践報告やワークショップが行われました。

また、放課後児童クラブ指導員を対象とする研修は、講義や実技講座の内容により全 4 回実施されました。

6 情報の発信

◆ ホームページ

これまでに放課後子どもプラン推進委員会で訪問取材したおおさか元気広場、放課後児童クラブの活動や連携の様子を、大阪府のホームページで紹介しています。

訪問記録をはじめ、大阪府の取組みに関わる情報が掲載されています。

ホームページアドレス <https://www.pref.osaka.lg.jp/chikikyoiku/houkagopuran/index.html>

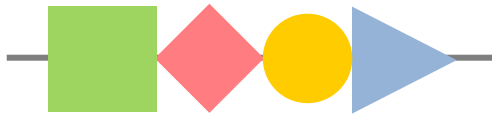
◆ メッセージチラシ

第 4 回推進委員会での提案を踏まえ、平成 24 年 4 月に推進委員会からのメッセージチラシを作成し、すべての元気広場及び放課後児童クラブへ配布しました。

子どもたちが、地域の方の協力を得て、学年や障がい等に関わらず一緒に活動できる居場所づくりを進めること、活動に関わる大人同士が連携・協力することの大切さを発信しています。



事例編



事例編 もくじ



元気広場と放課後児童クラブとの連携

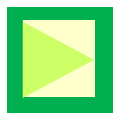
ページ

元気広場と放課後児童クラブの一体的運営	西小学校元気広場・放課後児童クラブ（箕面市）	18
放課後児童クラブの行事に元気広場の児童が参加	東佐井寺留守家庭児童育成室・太陽の広場（吹田市）	19
多彩な講座を開催し、子どもたちに豊かな体験を	太田さくらくらぶ・みどり教室（茨木市）	20
元気広場と児童クラブとの連携で広がる活動とつながり	もりぐち児童クラブ藤田（守口市）	21
地域の子どもはみんな一緒	四條畷小学校放課後子ども教室・ふれあい教室（四條畷市）	22
子どもがつながる、地域もつながる	幸小学校げんきっ子プラザ・どろんこ子ども会（和泉市）	23



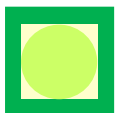
支援の必要な児童の参加

チーム石橋、地域で子どもの居場所をつくる	石橋小キッズランド（池田市）	24
「いつもいっしょに、ちいきの、みんなと」	柏原子ども教室 ☆い・ち・み☆（柏原市）	25
みんなが楽しく過ごせる居場所	城内第二チビッコホーム（岸和田市）	26
地域が支える支援学校の子どもの居場所づくり	大阪府立茨木支援学校（大阪府）	27
「ネイチャーランド」でもっと地域とつながる	大阪府立生野聴覚支援学校（大阪府）	28



特色ある体験活動

子どもたちが安心して遊べる居場所づくり	郡小学校区放課後子ども教室（茨木市）	29
地域の教育力を結集して心豊かでたくましい子どもを育む	和光キッズクラブ（寝屋川市）	30
高校生がボランティアとして小学生を応援	藤井寺北小学校元気広場（藤井寺市）	31
地域の総意で支える子どもの放課後の居場所	永寿小学校区ふれあいルーム（貝塚市）	32
大学生や地域の団体が企画から参加し多彩な活動を実施	くまとり元気広場（熊取町）	33



放課後の学習支援

ツールを活用して育む子どもの自学自習力	天美南小学校放課後チャレンジ教室（松原市）	34
学校・地域が連携して支える「学び広場」	鳴滝小学校元気広場（泉南市）	35
毎日参加したくなる工夫で子どもの学習習慣づくり	多奈川小学校アフタースクール（岬町）	36



元気広場と放課後児童クラブの一体的運営

西小学校元気広場・放課後児童クラブ（箕面市）



活動の状況

	元気広場	放課後児童クラブ
活動開始年度	平成 19 年度	—
年間開催日数	178 日	288 日
主な開催日	平日	月～土曜日
子どもの平均参加人数	101 人	65 人
開催場所	西小学校内	学校内余裕教室

活動の概要

- 学校施設を子どもたちの自由な遊びの場として開放し（自由な遊び場開放事業）、放課後児童クラブに登録している子どもも、登録していない子どもと一緒に楽しく遊べるように、それぞれの指導員が連携を図り、子どもの指導にあっている。
- 箕面市教育委員会が箕面市社会福祉協議会に運営を委託し、元気広場と放課後児童クラブを一体的に運営。日常的にそれぞれの参加児童が交流可能。

ここがポイント！

社会福祉協議会による一体的運営により、連絡会議や配慮を要する子どもの情報交換が活発に

- 元気広場と放課後児童クラブが一体的に運営されていることにより、元の居場所は別ですが、**放課後児童クラブの児童は自由に元気広場の活動に参加でき、日常的な交流が図れています。**
- 毎日の活動終了後、元気広場の安全管理員と放課後児童クラブの指導員が集まって、**児童の様子に関する情報交換を行うとともに、必要に応じて児童の担任への連絡を行うなど、学校とも連携**を図っています。
- **障がいのある児童の参加**する際に支援が必要な場合は、1週間前に指導員への相談（利用申請）を経て、**支援態勢をとることが可能です。**
- 両事業の一体的な運営により、事業単位ではなく、**子どもを中心とした取組みの在り方を考えることができるよさ**があります。



こんな活動を行っています



広々とした運動場で一緒に遊びます



放課後児童クラブの子ども達は、マグネットを使って自分がどこで遊ぶのかを知らせます



毎週木曜日の体育館開放も大人気です

支援者の声

- 「連携により、両事業の枠を超えて参加児童が仲良くなれます。」
- 「連携会議で気になる子の情報交換をすることで、子どもに関わる大人みんなで見守ることができます。」



放課後児童クラブの行事に元気広場の児童が参加

東佐井寺留守家庭児童育成室「たんぽぽ」・太陽の広場（吹田市）



活動の状況

	元気広場	放課後児童クラブ
活動開始年度	平成 20 年度	—
年間開催日数	190 日	256 日
主な開催日	平日	月～金曜日・第4土曜日
子どもの平均参加人数	62 人	29 人+28 人
開催場所	学校内	専用教室

活動の概要

- ・「たんぽぽ」は、月～金曜日の放課後と毎月第4土曜日に実施されている、小学校1～3年生の子どもたちの生活の場。日常の主な活動は、一輪車、けん玉遊び、集団遊び（ドッジボール、鬼ごっこなど）。
- ・「太陽の広場」（放課後子ども教室）と連携し、日常的に交流するだけでなく、留守家庭児童育成室の行事「たんぽぽまつり」に太陽の広場の子どもが参加。

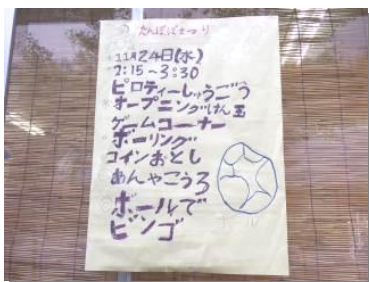
ここがポイント！

留守家庭児童育成室主催の「たんぽぽまつり」に太陽の広場の児童が参加し、一層深まる交流

- ・たんぽぽ及び太陽の広場の子どもたちは、運動場などでの自由遊びで日常的に交流しており、たんぽぽ指導員、太陽の広場フレンドが見守っています。
- ・たんぽぽの子どもたちが、自分たちで8つの遊びコーナー（まがいさがし、コインおとし、的あてなど）をつくり上げ、参加を呼びかける「たんぽぽまつり」に、太陽の広場から約120人の児童が参加しました。
- ・まつりを支援してくれる関西大学のボランティアサークルとの連携が、吹田市のすべての留守家庭児童育成室で実施されています。
- ・毎月、たんぽぽの指導員、太陽の広場キャプテン、学校関係者、教育委員会事務局が集まって、両事業の取り組みや子どもたちの様子、合同研修などについての情報交換や協議を行っています。



こんな活動を行っています



いろいろな遊びがいっぱい



的あてコーナー。みんな真剣に的を狙います



ボーリングは学年を越えて楽しめる遊びです

支援者の声

- ・「月一回の連携会議で、気になる子どもの情報交換をすることで、みんなで見守ることができます。両事業の枠を超えて、参加児童が仲良くなっています。」



多彩な講座を開催し、子どもたちに豊かな体験を 太田さくらくらぶ・みどり教室(茨木市)



活動の状況

	さくらくらぶ	みどり教室
活動開始年度	平成 19 年度	—
年間開催日数	124 日	293 日
主な開催日	月・水・木・土曜日	月～土曜日
子どもの平均参加人数	70 人	80 人
開催場所	運動場・体育館 ・教室	小学校内専用教室

活動の概要

- 学習活動、自由遊びに加え、実行委員会が、地域で活動する方や専門知識を持っている方に直接声をかけて「講座」の実施を依頼し、多彩な「講座」を展開。
- 講座は、スポーツ活動（ミニバスケット、キックベースボール、ドッジボール、卓球、バレーボール、グランドゴルフ等）、文化活動（和太鼓、フラワーアレンジメント、茶道、将棋、書道、生け花、フラダンス、料理等）と多岐にわたる。
- 元気広場（さくらくらぶ）と放課後児童クラブ（みどり教室）との連携に力を入れており、クラブの指導員が「講座」の一つ「ドッジボール」を担当。

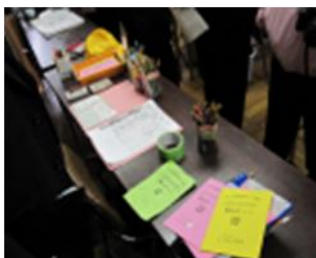
ここがポイント！

**連携の一つとして、放課後児童クラブの指導員が
元気広場の一つの講座を担当しています**

- 太田小学校では、元気広場との連携をすすめるために、**放課後児童クラブの指導員が一つの「講座」を月 1 回担当**しています。放課後児童クラブの児童が元気広場へ一層参加しやすくなり、元気広場の児童や地域の大人との交流が広がって、豊かな成長につながっています。
- 多彩な講座を実施するため、実行委員 4 名、安全管理を担う地域のボランティア 6、7 名に加え、小学校の PTA 会員 4、5 名の方に事務的な仕事をお願いし、活動を運営しています。子どもたちは**多くの講座の中で、人と関わりや異年齢交流を通じ、さまざまな経験**をします。



こんな活動を行っています



個人カードで出欠確認がスムーズにできるよう工夫されています



児童はまず部屋で宿題に取り組んだ後、遊びなどの活動に参加します



「講座」の一つ、フラワーアレンジメント

支援者の声

- 「多彩な講座に参加することにより、子どもたちに豊かな体験や様々な人との交流をしてもらいたいと願っています。」（コーディネーター）



元気広場と児童クラブとの連携で広がる活動とつながり

もりぐち児童クラブ藤田（守口市）



活動の状況

	元気広場	放課後児童クラブ
活動開始年度	平成 19 年度	—
年間開催日数		295 日
主な開催日		月～土曜日
子どもの平均参加人数	約 30 人	約 50 人
開催場所	学校内施設	学校内余裕教室

活動の概要

- ・おおさか元気広場（登録児童室）と放課後児童クラブ（入会児童室）のそれぞれの独自性を尊重しながら、連携して「もりぐち児童クラブ事業」の運営を行っている。
- ・子ども達は様々な遊びを通じて自由に交流しながら、様々な大人との関わりを経験。
- ・守口市内のすべての小学校区において、同様の仕組みで実施。

ここがポイント！

2つの児童室の一体的運営により、参加するすべての子どもたちと地域の大人との交流が進む

- ・「登録児童室」は、地域実行委員会に運営を委託して、主任パートナー1名、地域パートナー2名の支援のもと、**放課後の子どもの安全な遊び場を提供**しています。
- ・「入会児童室」は、教育委員会の直接運営のもと、指導パートナー2名に臨時パートナーを加えた体制で、**放課後等の生活の場の提供と安全確保に努めています**。
- ・**日常の活動**では、両児童室の参加児童は遊具を一部共有しながら**自由に遊び、交流**しています。また、**合同の取組み**として、地域ボランティア（登録 35 名）による**交流・体験活動**（工作教室、交通安全教室、盆踊りの練習、グランドゴルフ等）や、水曜日の図書室開放に参加しています。
- ・合同の取組みでは、**両児童室のスタッフが協力して子どもたちを見守ります**。また、両方のスタッフは、月に1回打ち合わせを行って情報交換を図っています。



こんな活動を行っています



地域の方と一緒に工作教室、興味津々です



わからないことは、地域の方がやさしく教えてくれます



2つの児童室に参加する異年齢の児童が話し合いながら作品を作りあげていきます

支援者の声

- ・「町で会うと、子どもたちからあいさつをしてきてくれるようになりました。」
「こどもに変化が現れた時にやりがいを感じます。」（地域ボランティア）
- ・「子どもたちと地域の方との交流が進むことが一番のメリットだと思います。」（入会児童室スタッフ）



地域の子どもはみんな一緒

四條畷小学校放課後子ども教室・ふれあい教室（四條畷市）



活動の状況

	元気広場	放課後児童クラブ
活動開始年度	平成 19 年度	—
年間開催日数	80 日	293 日
主な開催日	平日	月～土曜日
子どもの平均参加人数	24 人	83 人
開催場所	学校内余裕教室	ふれあい教室

活動の概要

- 平成 24 年 4 月から、青少年課において、放課後子ども教室と放課後児童クラブ（ふれあい教室）の両方を所管。
- 教室に来た子どもたちは、まず自分の学習に取り組んだ後、自由遊びやいろいろな活動への参加など、過ごし方を自分で決める。
- ふれあい教室の子ども達が放課後子ども教室に参加する場合、指導員が部屋まで連れて行き、あとは放課後子ども教室のコーディネーターやボランティアのもと、子ども同士で楽しく交流している。

ここがポイント！

「四條畷小学校の子どもはみんな一緒」。大人のこの思いが子ども達の交流を育んでいます

- 子どもは、生活する場面に応じて、気持ちや行動も変化します。以前は、ふれあい教室では元気に過ごしている子どもが、放課後子ども教室では、楽しいはずの工作や折り紙などの活動に気持ちよく参加できないことも・・・
- 平成 24 年度から同一課が両事業を担当することにより、両教室の担当者から現場の生の声を聞き、三者で話しあう場面も増えました。



このように、支援者が連携を生かして思いを共有し、放課後子ども教室でも自分のペースで自由に遊べるよう支援することにより、今では楽しく活動に参加しています。

こんな活動を行っています



子どもたちは自分が決めた場所で楽しく過ごします



クリスマスリースをつくる活動もあります（放課後子ども教室）



黒板には作り方の説明書を貼っており、自分でチャレンジします

担当者の声

- 「大人どうしが常にいろいろな課題を共有することで、子どもにとって安心な居場所を作っています。放課後子ども教室内では、2つの教室の子どもたちが自然に一緒に遊んでいます。」



子どもがつながる、地域もつながる

幸小学校げんきっ子プラザ・どろんこ子ども会（和泉市）



活動の状況

	元気広場	放課後児童クラブ
活動開始年度	平成 20 年度	—
年間開催日数	226 日	238 日
主な開催日	平日・休日	月～金曜日
子どもの平均参加人数	14 人	60 人
開催場所	学校・青少年センター	青少年センター

活動の概要

- ・げんきっ子プラザ（放課後子ども教室）の活動は、自由遊びとスポーツ活動（ソフトボール）の2本柱。毎週月・水・金曜日に青少年センターで宿題や自由遊びを行い、週に3～4日、ボランティアが子どもたちにソフトボールを指導。
- ・どろんこ子ども会の子もたちは、同じ場所で毎日放課後の時間を過ごす。
- ・両事業に参加する子ども同士が時折交流として、楽しく一緒に活動に取り組んでいる。

ここがポイント！

地域のことをよく知るNPO法人が、放課後子ども教室と放課後児童クラブを運営

- ・地域に根ざし、子どもたちの様子をよく知るNPO法人ダッシュがげんきっ子プラザの実施組織に参加し、NPOのメンバーがコーディネーターを務めています。さらに、同じNPOが放課後児童クラブの委託を受けていることから、**2つの活動を連携して実施**しており、学年を超えた子どもたちの人間関係を築くことができます。
- ・コーディネーターがキーパーソンとなり、げんきっ子プラザ・どろんこ子ども会の両事業の交流の仕掛けづくりを行っています。
- ・ここでの活動を体験した子どもたちが高校生や大学生になり、ボランティアとして子どもたちの活動の支援を行うようになっていきます。また、地域の取組みを通して近隣の高校からも10名程のボランティアが参加しています。
- ・このような取組みにより、平成 24 年度に、優れた地域による学校支援活動の推進にかかる文部科学大臣表彰を受けました。



こんな活動を行っています



大切な放課後の居場所



合同での焼き芋大会



地域の方によるソフトボール指導
（幸小学校グラウンド）

関係者の声

- ・「参加している子どもから地域の大人へ積極的にあいさつができるようになりました。」（支援者）
- ・「活動を通じてたてのつながりができ、学校全体の仲間づくりがすすんでいます。」（学校長）

チーム石橋、地域で子どもの居場所をつくる

石橋小キッズランド（池田市）



活動の状況

	元気広場	放課後児童クラブ
活動開始年度	平成 19 年度	—
年間開催日数	53 日	290 日
主な開催日	水曜日・土曜日	月～土曜日
子どもの平均参加人数	70 人	55 人
開催場所	運動場・多目的室・図書室	学校内余裕教室

活動の概要

- 毎週水曜日を基本とする平日は、ドッジボールや大縄跳び、一輪車などの活動に児童が自分で決めて参加。また、地域の囲碁クラブの方が囲碁教室を月2回開催。
- 学期に数回、土曜日に誰もが参加できる行事（新入生歓迎会、さつまいも祭り、お楽しみ会）も実施。
- 平成 16 年度の開始当初から元気広場と放課後児童クラブとの連携を進めており、放課後児童クラブの子どもたちがキッズランドの活動に自由に参加できる。

ここがポイント！

「子どもたちひとりひとりに応じた支援」を支援者みんなで話し合い、共有する

- 支援の必要な児童が気軽に参加できるよう取り組んでいます。以前、支援の必要な子どもと接する機会が少ない中、どのように接していけばいいのかについて安全管理員が同じ悩みを抱えていることがわかったため、安全管理員で話し合いの場を設け、それぞれの思いや方向を共有しました。
- 今では、支援の必要な子どもと接する中で、学校の支援学級の担任や放課後児童クラブの指導員、ボランティアの間で情報を共有することによって理解が深まっています。「特別なことをする」のではなく、「子どもたちひとりひとりに応じた支援」をすることによって、みんなが参加できる活動を地域全体で作っています。
- 地域にある様々な団体に呼びかけ、新しいボランティア人材の参画を進めることを大切にしています。地域の自治会組織に近いスポーツ振興会が中心となっており、保護者、PTA、子ども会、そして学校を巻き込んで活動の活性化を図っています。卒業生の保護者も活動を支えています。



こんな活動を行っています



受付で名札をもらい、活動を選びます



宿題もがんばります



おとも子どもと一緒に楽しみます

関係者の声

- 「思いっきり遊べるので楽しい。キッズランドの日は、みんなが残るので自分も行きたくなる。」（児童）
- 「特別な支援が必要な場合は、支援学級の担任の先生や学童の指導員さんと情報交換をしています。今ではどの子ども同じように接しています。」（コーディネーター）

「いつもいっしょに、ちいきの、みんなと」

柏原子ども教室☆い・ち・み☆（柏原市）



活動の状況

活動開始年度	平成 13 年度
年間開催日数	64 日
主な開催日	平日・土曜日
子どもの平均参加人数	7 人
開催場所	柏原市内小中学校 など

活動の概要

- ・柏原市内の小・中学校の支援学級、近隣の3つの支援学校に通う、障がいのある児童生徒を対象に、経験豊かなスタッフにより、マインドエアロビクス・スポーツ教室（卓球・ボール運動等）・料理教室・創作教室（工作・絵画等）・散髪教室などの多彩な活動を実施。
- ・月一回の学校週五日制が始まり、第二土曜日が休みになったことをきっかけに、保護者による障がいのある子どもたちの居場所づくりの活動として始まった。現在は NPO 法人を立ち上げ、障がい児・者のための活動の一環として取り組んでいる。

ここがポイント！

保護者から地域へ受け継がれた、障がいのある子どもたちの居場所づくりへの思い

- ・障がいのある子どもたちが家に引きこもることなく、健常児と同じように、外に遊びに行くという活動をさせたい保護者の思いから始まった活動が「い・ち・み」として定着し、地域の障がいのある子どもたちの居場所が実現しています。
- ・障がいのある子どもが安心して遊びや体験活動に取り組めるように、慣れ親しんだ学校施設などを利用し、本人のやってみたい体験や保護者の希望などを取り入れています。
- ・障がい児・者への支援経験があるスタッフのもと、地域の方や関西福祉科学大学の学生がボランティアとして参加し、きめ細かな支援のもと様々な活動が行われています。また、障がい児・者専用の保険に加入する等、安全確保にも万全を期するよう努めています。
- ・柏原市、学校、関係団体等との連携により、対象児童・生徒へのチラシの配布や活動の周知、施設利用などについて協力が得られています。
- ・このような取り組みにより、平成 23 年度に、優れた地域による学校支援活動の推進にかかる文部科学大臣表彰を受賞しました。

こんな活動を行っています



地域の方に卓球を教えてもらいます



散髪体験は将来的な地域での生活へ結びつく活動です。



みんなで過ごす大切な時間

支援者の声

- ・「活動が続くことで障がいのある子どもたちが外へ出ることが定着し、子どもや保護者の暮らしやすさにつながっています。」
- ・「活動を通して地域住民の理解が深まっています。」

みんなが楽しく過ごせる居場所

城内第二チビッコホーム（岸和田市）



活動の状況

年間開室日数	293日
開室日	月曜日～土曜日
入室児童数	47人
開室場所	学校近隣施設

活動の概要

- 子どもの主な活動は、外遊び・創作活動・学習など。3人の指導員で子どもを支援。
- 学校近くの単独施設で、ホームの前のスペースにて一輪車や竹馬の練習をしたり、ドッジボールをしたり元気いっぱい遊んでいる。
- 岸和田市では支援学校に通う児童を積極的に放課後児童クラブへ受け入れており、さまざまな工夫をしながら、みんなが楽しく過ごせる居場所となっている。

ここがポイント！ ひとつの工夫でみんなが過ごしやすい居場所に

「ひとりひとりの大切さ。みんな同じ、けれどみんな違っている」

これは、支援学校のお友達を受け入れるにあたって、指導員が子どもたちに伝えた言葉です。この言葉をきっかけに、子どもたちにも自然と困っているお友達を助けようという気持ちが芽生えていました。



- 支援学校からの児童を受け入れるにあたっては、4月の入会前に、指導員が保護者の方や保育所・リハビリ施設の先生方と日々の生活の中での工夫などの情報共有の場を持ち、体制を整えました。また入会後も支援学校での研修に参加したりしながら、みんなが過ごしやすいクラブをめざしています。

- そういった中でどの子どもに対しても「できることを伸ばしてあげよう」という視点を持って接しています。

こんな活動を行っています



みんなが落ち着く居場所です



ホームの約束はきちんと守ります



大切な情報共有

保護者の声

- 「入学当初は体も小さく、歩行なども不安定なので、ほかの子どもたちと仲良くできるか心配でしたが、先生方やたくさんのお友だちのおかげで、楽しめているようです。お友だちも理解してくれて、たくさん接してくれます。ばったり道で会ったときに、声をかけてくれるので地域の小学校のお友だちができてうれしく思います。」

地域が支える支援学校の子どもの居場所づくり

大阪府立茨木支援学校



活動の状況

活動開始年度	平成7年度（事業開始年度）
年間開催日数	23日
主な開催日	平日の放課後・休日
子どもの平均参加人数	15人
開催場所	茨木支援学校

活動の概要

・子どもの居場所づくり

読み聞かせ活動、クラブ活動支援、環境美化活動（花壇の整備、畑づくり）

音楽を通じた交流会、クリスマス交流会、プール遊び・親子交流会

地域とのふれあい交流会（イチゴ狩り、芋の苗植え、芋掘り体験、餅つき体験） など

ここがポイント！

地域の熱く温かい思いで長年支えられている、障がいのある子どもたちの居場所づくりの活動

- ・地域との交流が長く続いており、「餅つき大会」は30年、「芋掘り体験」は15年に及び、毎年の恒例行事となっています。
- ・そのスタートは、当時の教職員が、支援学校の子どもたちの生活経験をより上げたいと地域に体験の場を相談したことでした。
- ・現在の活動は、「子どもに多くの体験をさせてあげたい」という思いを大切に、**地区福祉委員、自治会連合会、公民館の協働**によって進められています。
- ・「芋掘り体験」では、**地域の方による、苗植えから芋掘りまで何度も学校を訪れての支援のもと**、実施されました。また、40人に及び介護体験の学生が参加し、**多くの支援者により一人ひとりの障がいの状況に応じた活動が行われています。**



こんな活動を行っています



大きな芋が出てくると、あちこちから歓声が上がっていました



秋空の下、掘った芋はもちろん焼き芋にして食べました



児童生徒の代表がお世話になった方々にお礼を述べ、拍手で会を終えました

地域の人の声

- ・「畑作り、苗植え、ひまわりフェスタ、芋掘り体験、餅つき体験と年5回くらいは学校に来ています。毎回楽しみにしています。もう10年ほど関わってきていますが、毎年変わらず続いていることがすばらしいと思います。また来年も来たいですね。」（地区福祉委員）

「ネイチャーランド」でもっと地域とつながる

大阪府立生野聴覚支援学校



活動の状況

活動開始年度	平成 20 年度
年間開催日数	109 日
主な開催日	平日・休日
子どもの平均参加人数	30 人
開催場所	生野聴覚支援学校

活動の概要

- 平日の放課後、参加児童の希望をもとに、サッカー、ミニバスケットボール、ドッジボール、ソフトバレーボール、鬼ごっこなどの活動を実施。
- 地域と学校をつなぐイベント「ネイチャーランド」を開催し、地域の方との交流を実施。
- 「ネイチャークラブ」と名付けられた、地域人材などによる学校支援活動も活発。

ここがポイント！ 地域の人にもっと学校に来ていただく工夫を

- 広域から児童生徒が通学する支援学校にとって、**学校が立地する近隣地域の人にもっと学校に来ていただきたいという思いから、PTA と地域のボランティアが中心になって放課後の居場所づくり活動を行っています。**
- 安全管理員が見守る中、子どもたちは、サッカーやバスケットボール、雨天時は体育館や多目的ホールでのドッジボールや卓球など、**希望する活動に参加**します。図書室で本の読み聞かせや紙芝居などを行うこともあります。
- 自然や動物をテーマに、動物とふれ合ったり動物将棋で遊んだりするイベント「**ネイチャーランド**」を年 2 回開催することにより、**子どもと地域の人とのつながりが深まり、子どもたちの居場所づくりの拡大にもつながっています。**
- 地域人材である 2 人のコーディネーターが、卒業生の保護者や地域のボランティアに声をかけ、紙工作・花の植え込み・染め物等の**学校支援活動「ネイチャークラブ」を実施**しています。



こんな活動を行っています



移動動物園には、地域の子どもたちもたくさん参加



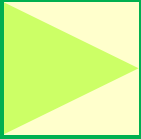
動物将棋教室では原作者が来校し、いろいろな人と対局を楽しみました



参加した地域の人には、地元の花屋さんの協力で花の苗をプレゼント

地域の方の声

- 「いろんな経験ができて子どもたちも喜んでいました。来年も楽しみにしています。」「初めて参加して、とても楽しかったです。のんびり動物と触れ合えたり、将棋、囲碁ができたので良かったです。」



子どもたちが安心して遊べる居場所づくり

郡小学校区放課後子ども教室（茨木市）



活動の状況

活動開始年度	平成 20 年度
年間開催日数	185 日
主な開催日	月～金曜日
子どもの平均参加人数	1 日平均 80 人
開催場所	郡小学校・コミュニティセンター

活動の概要

- ・ドッジボール・鬼ごっこ・一輪車・のぼり棒・卓球・工作・おりがみ・絵画など、多彩な活動の中から、子どもたちは自分でやりたい遊びを自由に選んで参加。
- ・毎週水曜日は、学校に隣接する集会所で、地域のボランティアが囲碁教室を開催。
- ・放課後児童クラブとの連携により、子どもたちが日常的に参加できる体制をとっている。

ここがポイント！

子どもの自主的な遊びを地域の大人ができる限り見守ることで、子どもの豊かな成長を

- ・コーディネーターを中心に地域の大人たちが多彩な活動の場を用意し、子どもたちが自主的に活動を選び、取り組むことを大切にしています。
- ・子どもが自分の力でがんばってできるように声かけや見守り方を工夫し、上手にできたときはしっかりほめるようにしています。
- ・放課後児童クラブの児童が日常的に放課後子ども教室の活動へ参加しています。両方の事業のスタッフが協力して活動を見守り、学期毎に、学校関係者、放課後児童クラブ保護者代表も交えての合同スタッフ会議を実施しています。
- ・必要に応じ、学校と子どもについての情報交換を行うとともに、学校だよりで放課後子ども教室の取組みを紹介したり、児童朝会でスタッフを紹介するなど連携しています。
- ・このような取組みにより、平成 21 年度に文部科学省の第 2 回放課後子ども教室推進表彰教室に選ばれました。



こんな活動を行っています



最初に宿題をすませて、遊びに参加していきます



卓球を通じて異年齢の交流がすすんでいます



毎週水曜日に開催される囲碁教室

支援者の声

- ・「地域ボランティアにとって、子どもに教える喜び、子どもの成長がやりがいです。親、保護者以外の地域の大人と接することが子どもにとって大切だと思い、毎日取り組んでいます。」（コーディネーター）

地域の教育力を結集して心豊かでたくましい 子どもを育む 和光キッズクラブ（寝屋川市）



活動の状況

活動開始年度	平成 17 年度
年間開催日数	102 日
主な開催日	放課後、週末、長期休業中
子どもの平均参加人数	54人
開催場所	和光小学校、公民館

活動の概要

- ・放課後や週末、長期休業中に、小学校や校区の公民館・集会室を活用して多様な取組みを実施。
- ・活動は、補習教室/土曜寺子屋教室（学習会）/リズムなわとび/グランドゴルフ/バスケットボール/手作り工作教室/日曜校庭開放/おはなし会/映画会/囲碁将棋教室/そろばん教室など多彩なプログラムを、地域のボランティアの方々が主体的に企画、運営。
- ・放課後児童クラブと連携し、児童クラブの子どもたちも自由に活動に参加できる

ここがポイント！

学校・家庭・地域の様々な団体・支援者が、 地域をあげて多彩な取組みを実施

- ・学校の教職員・PTA・自治会・婦人会・老人会・主任児童委員・青少年指導員・防犯協会・地域の支援者など、**子どもを取り巻く地域の教育力を結集**することにより、**多種多様な取組みが実施**されています。活動も学校だけでなく、**校区内の各地区の公民館でも実施**されます。
- ・放課後や土曜日の活動に加え、夏休みや冬休みには、自治会の全面協力の下、保護者も参加可能なスペシャル企画を実施するなど、**地域をあげて子どもと関わる活動を楽しんでいます**。
- ・様々な取組みを通して、地域の大人と子ども、異年齢の子ども同士のアットホームなつながりが生まれ、それが安全安心な町をつくり、子どもを守る仕組みとなっています。
- ・「地域の子は地域で守る」と協力を惜しまない**地域とのかけがえのない絆であるキッズクラブ**の取組みは、平成 20 年度に文部科学省の第 1 回放課後子ども教室推進表彰教室に選ばれました。

こんな活動を行っています



なわとびクラブでは、いろいろな飛び方に挑戦中



地区の集会室では、映画会も開催されています



地域人材が中心となり、公民館で土曜寺子屋教室を開催

関係者の声

- ・「地域の人のおかげでいろいろな体験ができて楽しい。地域の人とも顔見知りになり、あいさつや話ができるようになった。」（子ども）
- ・「作品を喜んで持ち帰ってくるし、教えてもらった地域の人とも子どもを通じて親しくさせてもらい、親も良い勉強になる」（保護者）
- ・「学校を通じて子どもや親と接することができ、地域がひとつになることができた。子どもは地域の宝。みんなで育てたい。」（地域の人）

高校生がボランティアとして小学生を応援

藤井寺北小学校元気広場（藤井寺市）



活動の状況

活動開始年度	平成 20 年度
年間開催日数	12 日
主な開催日	主に火曜日の放課後
子どもの平均参加人数	157 人
開催場所	藤井寺北小学校運動場

活動の概要

- ・竹馬、フラフープ、おにごっこ、ボール遊び等の中から子どもが自由に選んで体験。
- ・事前申込みはなく、参加カードを持参して広場に参加可能。
- ・平成 23 年度から、ボランティアとして、府立藤井寺高校の生徒が毎回 5 人程度活動に参加、放課後学習の支援にもあたっている。
- ・放課後児童クラブ在籍児童の半数以上が参加している。

ここがポイント！ 学校の思いとアクションが小学生と高校生をつなぐ

- ・この高校と小学校との連携が始まったきっかけは、新しいボランティアの確保が必要になっている中、**小学校の校長先生が高校へ「放課後学習に力を貸してほしい」とお願いに行ったこと**でした。高校の快諾により、平成 23 年度は **30 名の高校生が登録**してくれました。小学校の校長先生は、もともと地域でつながりのあった高校の P T A 役員の方々にも声をかけました。
- ・高校生が広場に新しく関わってくれることで、**小学生の参加が増えてきました。**
- ・**高校生も、「小学生は元気ですね。とても楽しかった」「また遊びにきたいです」と、活動を楽しんでいます。**



こんな活動を行っています



おにごっこ、フラフープ・・・、今日は
何で遊ぼうかな？



高校生や大人の人に教えてもら
いながら練習をしました



楽しい一日だったね
また今度遊ぼうね！

高校生の声

- ・「とても楽しい。鬼ごっこを一緒にやったが、子どもたちはすばやくてなかなか捕まえきれなかった。今度は友だちも誘ってきたい。将来は小学校の先生になりたい。」（3 年生）

地域の総意で支える子どもの放課後の居場所 永寿小学校区ふれあいルーム（貝塚市）



活動の状況

活動開始年度	平成 20 年度
年間開催日数	118 日
主な開催日	毎週月・火・木曜日
子どもの平均参加人数	29 人
開催場所	永寿小学校ふれあいルーム

活動の概要

- ・地域ボランティア・団体が余裕教室を活用し、和太鼓、陶芸、絵画、木工、昔遊び、小物づくり、ピーズなど多彩な教室を実施。
- ・放課後の取組みを発展させ、ボランティアによる授業開始前の読み聞かせや、老人会の方による生活科や社会科の授業支援、子ども見守り隊による登下校時の地域パトロールなど、学校支援活動も充実。
- ・陶芸教室や「永寿っ子祭り」などのイベントに、放課後児童クラブの子どもたちが指導員とともに参加、日常的に交流。

ここがポイント！

地域の総意で立ち上がった、安全で安心して楽しめる放課後の居場所

- ・「ふれあいルーム」は、共働き家庭が多いなどの子どもたちの実態から、「安全で安心して楽しめる放課後の居場所が必要」という校区 6 町の総意により誕生しました。
- ・コーディネーターが中心となり、福祉協議会、老人会、町会、公民館、貝塚市の生涯学習コーディネーター養成講座のOBである「まなびネットワーク」等、**地域をあげた支援を受けて、多彩な活動が実施**されています。
- ・趣味、特技を生かして子どもたちに関わる**ボランティアの募集チラシを校区の全戸に配布**し、約 20 名のボランティアの応募を得ました。
- ・校内の「ふれあいルーム」は**地域の方が日常的に活動をする場所**となっています。また、学校を通じて「ふれあいルームニュース」を配布するなど、**学校と地域がしっかり連携**しています。



こんな活動を行っています



陶芸コーナーでのいねいな指導



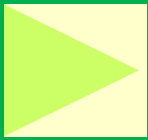
教えるボランティアの方も楽しんでます



身近な材料で、生活に役立つ物を作ろう！

地域の人の声

- ・「子どもと一緒に活動していると楽しいし、子どもたちに教えられる。」
- ・「町であいさつをしてくれたり、握手を求めてきてくれたりするのがうれしい。」
- ・「子どもたちがふれあいルームに参加して喜んでいるのを見てると元気をもらいます。」



大学生や地域の団体が企画から参加し多彩な活動を実施 くまとり元気広場（熊取町）



活動の状況

活動開始年度	平成19年度
年間開催日数	57日
主な開催日	毎週水・土曜日
子どもの平均参加人数	16人
開催場所	熊取交流センター(煉瓦館)他4か所

活動の概要

- 地域の団体や大阪体育大学のサークルなど11もの団体の協力を得て、町の煉瓦館などで、ニュースポーツ、パタンク、ゲートボール、リズムダンス、ディスコンなどのスポーツ・健康づくり遊びや、工作遊び、昔遊び、紙芝居、野外炊飯、自由遊びなど、多彩な活動を実施。
- 対象は主に小学生。実施場所が学校外なので、児童は下校後一度帰宅してから活動に参加。居住する校区だけでなく、町内のどの校区の元気広場にも参加可能。
- 土曜日に放課後児童クラブの特別な活動がない時、クラブの児童が元気広場に参加している。

ここがポイント！

大学生や地域の団体の協力で、多彩な活動が充実

- 「くまとり元気広場運営委員会」が中心となって、各団体の活動実施日の調整を行い、小学校を通して、毎月、子どもたちへスケジュールが配布されます。
- 多くの団体に活動を依頼することにより、児童の多様な求めに応じた多彩な活動が提供されています。
- 関係団体の多くが、それぞれの日常の活動を元気広場の活動メニューとしていることで協力を得やすく、活動の継続につながっています。
- 熊取町の放課後児童クラブを運営しているNPOも1つの活動を担当しており、連携が進んでいます。



こんな活動を行っています



工作遊びでは地域の方がとても
ていねいに教えて下さいます



大学生といっしょにプレーする
ドッジビーは楽しい！



みんなで一緒に紙ヨーヨー作り

担当者の声

- 「今一番人気の活動は、大学生が指導するリズムダンス。校区を越えて参加でき、よい交流の機会になっています。大学生が中心になって企画する健康づくり遊びも大好評です。」

ツールを活用して育む子どもの自学自習力

天美南小学校放課後チャレンジ教室（松原市）



活動の状況

活動開始年度	平成 20 年度
年間開催日数	40 日
主な開催日	毎週月・木曜日
子どもの平均参加人数	41 人
開催場所	天美南小学校パソコン教室

活動の概要

- ・児童の「基礎・基本の定着」、「自学自習力の育成」、「家庭学習の習慣の定着」をめざし、希望する5・6年生児童を対象として、放課後にパソコンを使用したデジタルコンテンツによる学習支援を実施。
- ・学習以外に、元気広場の活動として、体育館や運動場での自由遊びやスポーツ記録会、バレーボール、サッカー等も実施。

ここがポイント！

子どもが自ら学ぶ力を育てるためのシステムと支援態勢づくり

- ・大阪府教育委員会作成の学習支援ツールや、PTA の協力による市販の自学自習力育成支援ツールを用意し、**子どもが自分でプリントを印刷して取り組んでいます。**
- ・プリントの答えも印刷できるので、自分で答え合わせができます。わからない課題がある場合は、複数の学生ボランティアが教えてくれます。
- ・自分で目的に合ったプリントを選べることで、**子どもたちが興味関心を持って取り組むとともに、自学自習力の育成につながっています。**
- ・このプリントは家に持ち帰ってもよいので、**家庭学習の習慣づくりにもつながっています。**



こんな活動を行っています



バーコードで自分の目的に合ったプリントを選びます



自分でプリントをプリンターから印刷し、自学自習を始めます



わからないところは、学習支援アドバイザーに支援を受けます

子どもの声

- ・「家でする課題を持って帰ります。次の放課後チャレンジで答えあわせをして、間違った所を先生や友だちに聞きます。ファイルにプリントがたまってきた嬉しかったです。」

学校・地域が連携して支える「学び広場」

鳴滝小学校元気広場（泉南市）



活動の状況

活動開始年度	平成 23 年度
年間開催日数	90 日
主な開催日	毎週火・木曜日
子どもの平均参加人数	61 人
開催場所	少人数教室

活動の概要

- ・学習支援活動（学び広場）を、毎週火・木曜日の放課後に実施。
- ・地域人材、高校生、大学生、青少年センター職員、学校関係者等が協力して、常時複数名のスタッフを確保し、子どもたちの個別支援にあたっている。
- ・課題は国語（漢字）、算数が中心。個に応じ自主的に学習に取り組めるよう、教職員が教材を作成し随時更新している。

ここがポイント！

高校生まで参画した地域の多様なスタッフと、学校の教職員の連携による豊かな学習支援

- ・鳴滝学び広場では、**地域人材に加え、りんくう翔南高校のボランティア部の学生や大学生が参加し、多くのスタッフで支援にあたっています。**
- ・「高校生ボランティア」の参画は、地域人材を探していた時、りんくう翔南高校進路指導担当の先生に連絡をとったことがきっかけで実現しました。
- ・**参加児童の個人ファイルを作成し、継続的な学習と一人ひとりの課題に応じた支援に努めています。**
- ・子どもたちの興味・関心を引き出すため、**学校の少人数指導や学力向上の担当教職員とも連携し、教材や学び広場の組み立て方を工夫しています。教材は教職員による手作りプリントで、学年に合った内容が工夫されています。**
- ・鳴滝小学校では、学校での取組みを地域に知っていただくこと、元気広場での**取組みの様子をホームページで発信**するとともに、**新しいボランティアの募集**につなげています。

こんな活動を行っています



たくさんのプリントの中から、自分で選んで、学習を始めます



まずは一人で課題を解き、スタッフにマル付けしてもらいます



高校生もボランティアとして放課後学習に参加しています

高校生・大学生の声

- ・「ボランティアのきっかけは進路指導担当の先生から声をかけてもらったこと。ずっと続けてきて、子どもたちが理解してくれると嬉しい。将来は先生になりたい。」（高校3年生）
- ・「子どもたちと接することでいろんなことを学んでいる。子どもたちはとってもかわいい。自分の指導のあり方も変わってきた気がする。」（大学生）

毎日参加したくなる工夫で子どもの学習習慣づくり

多奈川小学校アフタースクール（岬町）



活動の状況

活動開始年度	平成19年度
年間開催日数	131日（平成23年度）
主な開催日	毎日（行事のある場合は閉室）
子どもの平均参加人数	19人（平成23年度）
開催場所	多奈川小学校 アフタースクール教室

活動の概要

- 平日の放課後の学習支援活動「アフタースクール」をほぼ毎日実施。地域の方や大学生が常時4人程度、及び学校関係者2人の体制で支援にあっている。
- 子どもが、自分の課題や関心に応じて自分に合った課題（プリント）を選べるよう、国語・算数だけでなく、社会、漢字検定、クイズ形式等の問題など、工夫しながら種類を豊富に用意。

ここがポイント！

子どもたちが継続的にアフタースクールに参加したくなる、様々な工夫やアイデア

- 地域の方々、大学生、学校関係者が予定を調整しながら、十分な人数できめ細やかな支援ができる態勢をつくっています。
- 学年や個別の学習の進度、学びたい教科などに応じて、**子どもが自分でプリントを選び、時間を決めて取り組みます。**課題選びに迷っている児童には支援者がアドバイスします。
- 答え合わせは支援者が行い、まちがったところは教えてもらいながらくり返し練習できるよう、同じ単元に複数枚の課題が準備されており、**プリントは1000種類以上用意されています。**
- プリントを1枚やり終えるとシールを1枚もらい、**個人ファイルに記録**していきます。1ヶ月に30枚以上クリアすると、「アフタースクール賞」として表彰され、学習の励みになっています。
- 学習の合い間には、**子どもたちと支援者が会話を楽しむ機会**をつくっています。



こんな活動を行っています



豊富に用意されたプリントの中から自分で選びます



質問すると、学生ボランティアさんがいてにこやかに答えてくれます



アフタースクール賞めざして、明日もがんばるぞ！

関係者の声

- 「子どもたちと一緒に学んでいる感じで楽しい。教えてあげるのではなく、一緒に考えるという感覚でやらせてもらっています。」（地域ボランティア）
- 「漢字を毎日するようになってから国語の点数が上がった。国語は毎日必ずやります。」（子ども）

參考資料

1 大阪府放課後子どもプラン推進委員会からのメッセージチラシ

放課後の安全・安心な居場所づくりに関わる皆さまへ

大阪府放課後子どもプラン推進委員会からのメッセージ

放課後子ども教室（おおさか元気広場）と放課後児童クラブが連携を進めています

子どもたちが、学年や障がい等にかかわらず、一緒になって活動できるよう、地域の方の協力を得て、放課後の安全・安心な居場所づくりを進めましょう!!

子どもたちの豊かな人間関係をはぐくむため、活動に関わる大人どうしが互いに連携・協力し、情報交換に努めましょう!!

ホームページのご案内

これまでに放課後子どもプラン推進委員会で訪問取材した放課後子ども教室、放課後児童クラブの活動や連携の様子を、大阪府のホームページで紹介しています。訪問記録をはじめ、大阪府の取組みに関する情報をごらんいただけます。

大阪 放課後子どもプラン

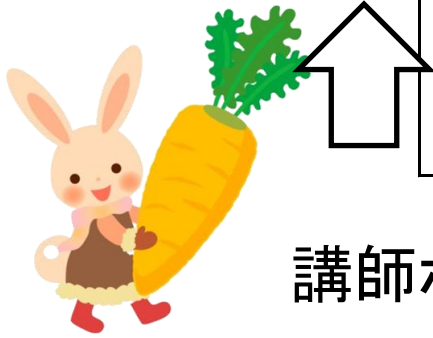
で 検索

- 検索結果から「大阪府／放課後子どもプラン」をクリック！
→ 大阪府の「放課後子どもプラン」のページが開きます



お問い合わせは事務局まで：大阪府教育委員会 市町村教育室 地域教育振興課 地域連携グループ
TEL:(06)6944-6901 FAX:(06)6944-6902 E-mail:shichosonkyoiku-g03@sbox.pref.osaka.lg.jp

2 参考様式例 ■ 講師ボランティア登録用紙



岸和田市放課後子ども教室運営委員会事務局
 (岸和田市教育委員会 生涯学習課)
 FAX : (072) - 423 - 3011
 住所 : 岸和田市堺町1-1 (岸和田市立公民館内)

岸和田市放課後子ども教室
講師ボランティア 登録用紙

年 月 日

登録者氏名・団体名		(ふりがな)	
性別	男・女・複数	生年月日	年 月 日
協力可能な内容 (特技など)			
連絡先	代表者 (団体の場合)	(ふりがな)	
	電話番号:FAX	固定電話	()
		携帯電話	
		FAX	()
住所	〒 -		
協力可能な曜日・時間帯		曜日 : 時間帯 :	
出張可能な教室		<input type="checkbox"/> すべて <input type="checkbox"/> いきいきパートナー天神山 <input type="checkbox"/> わくわく教室山北 <input type="checkbox"/> ゆうゆう大宮 <input type="checkbox"/> 中央子ども教室 <input type="checkbox"/> 城北公民館スクール <input type="checkbox"/> 大芝あそびクラブ <input type="checkbox"/> 学びの教室春木 <input type="checkbox"/> 八木っ子クラブ <input type="checkbox"/> 修斉放課後子ども教室	
その他(何かございましたら ご記入ください)			

ご登録いただき、まことにありがとうございます。

ご協力をお願いする際には、各教室から直接連絡させていただきますので、
 よろしく願いいたします。

連絡先: 岸和田市放課後子ども教室運営委員会事務局
 (岸和田市教育委員会 生涯学習課)
 住所: 〒596-0072 岸和田市堺町1-1(岸和田市立公民館内)
 電話: 072-423-9616 FAX: 072-423-3011



岸和田市 放課後子ども教室

講師ボランティア 募集!!

放課後子ども教室とは・・・放課後や週末などに、安全で安心な子どもたちの活動場所を設け、地域の方々に指導員として協力していただき、スポーツや文化活動など様々な体験活動を行っている教室で、現在、岸和田市には9つの教室があります。

特技を持っていらっしゃる方、毎回には行けないけれども、子どもたちへの活動を手助けしたいと思われた方、どしどし登録をお待ちしています。団体・サークルでの登録も大歓迎！裏面の登録用紙へ記入の上、岸和田市教育委員会生涯学習課まで(堺町1-1、FAX:423-3011)。

各教室の募集ご案内

教室名	主な活動場所	曜日・時間・その他
いきいきパートナー天神山	天神山小学校	水曜日:午後3時～5時。 第4土曜日:午前9～11時。
わくわく教室山北	山直北小学校	水曜日:午後2時45分～4時15分。
ゆうゆう大宮	大宮小学校・ 大宮青少年会館	曜日:水・金・土曜日。 時間:午前9～11時頃。午後2～4時頃。 項目:紙芝居、読み聞かせ、折紙、紙飛行機、 室内ゲーム、音楽(演奏・合唱)。
中央子ども教室	中央小学校	水曜日:午後1時30分～4時15分。 土曜日:午後2～4時。
城北公民館スクール	城北地区公民館	土曜日・夏休み:午前9～12時。
大芝あそびクラブ	大芝小学校	水曜日:午後1時30分～3時30分。
学びの教室春木	春木小学校	水曜日:午後2時30分～4時30分。 簡単な工作の補助や一緒に遊んでくれる方。
八木っ子クラブ	八木小学校	土曜日:午前9～11時。
修斉放課後子ども教室	修斉小学校	水曜日:午後1時30分～4時。

■ 子どもの登録申込書

登録番号	No.
登録日	年 月 日

年度					
学年					
組					

※太枠内を必ずご記入ください。

申込日 平成 年 月 日



太田さくらくらぶ登録申込書

(申込先) 茨木市立太田小学校区放課後子ども教室実行委員会(太田さくらくらぶ)

登録児童氏名	ふりがな	性別
		男 ・ 女
	生年月日 平成 年 月 日	
保護者氏名	ふりがな	
住所		
緊急連絡先	第1	第2

兄弟姉妹の在籍状況

氏名	年度						
	学年						
	組						
	学年						
	組						
	学年						
	組						

備考

<p>活動の際、スタッフが指導上配慮すべきことや、体や病気のことで気になることなど、連絡事項がありましたら記入してください。(かかりつけの病院・連絡先など) ※記入しにくい場合は、直接スタッフに連絡して頂いても結構です。</p>
--

保護者の皆様へ

この事業は、参加した子どもたちが地域の方々や友達と交流し合うというねらいもあります。安全面の配慮から地域スタッフの指示は必ず聞くように、そしてお子様自身も友達も楽しく過ごせる場所と出来るようご家庭でも十分にご指導ください。

子ども達が安心して遊べる場所

- ◇郡小学校では、放課後の子どもの居場所を提供する放課後子ども教室を実施しています。
- ◇実施日は月曜日から金曜日の給食の有る日、午後5時まで、毎日
- ◇主に自由遊びや宿題をはじめ、毎水曜日は囲碁講座を開催
- ◇保護者の責任のもと、実行委員会に登録することで参加できます。
- ◇参加費は原則無料です。
- ◇保険については「茨木市放課後子ども教室傷害保険」に加入
なお、同教室は居場所を提供するもので、子どもを預かることを目的としておりません。

放課後子ども教室 参加カード



文部科学省委託事業・茨木開設事業

茨木市立郡小学校区放課後子ども教室

(*必ず保護者が記入してください)

1 ・ 約束(きまり)は守りましょう

2 ・ 放課後に運動場で遊ぶ時は名札を付けましょう

年 組

名 前

◆地域での教育コミュニティづくりに関心のある方ご連絡を!

専用電話番号 : 080-6177-3841

平成24年8月 名 前(_____)

日	月	火	水	木	金	土
	27	28	29	30	31	
	始業式					

1日1「情」のための7つのアクション

「こころの再生」府民運動では、毎日の暮らしの中で一人ひとりがほんの少しだけ
気にとめてもらいたいことを「7つのアクション」として呼びかけています。

- ① 「あかんもんはあかん」と、はっきりしかりょう
- ② 「ええもんはええ」と、はっきりほめよう
- ③ 「ユーモア」を大切にしよう
- ④ 「あいさつ」をもっと大切にしよう
- ⑤ 「おかげさんで」を大切にしよう
- ⑥ 子どもの話をじっくり聞こう
- ⑦ 地域にどんどん出て行こう

平成24年9月 名 前(_____)

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
			集団下校			
16	17	18	19	20	21	22
	敬老の日					秋分の日
23	24	25	26	27	28	29
30	かつどう さんか ひ かならだ *活動に参加する日は、必ず出しましょう かね とま かならも かね *帰る時は、必ず持って帰りましょう かね じこく きたく じかん か *帰る時刻(帰宅時間)を書きましょう					日にち
運動会						帰宅時間
						参加印

3 府内市町村担当課一覧

市町村名	おおさか元気広場		放課後児童クラブ		市役所・町村役場 代表番号		
	担当課名	直通・内線番号	担当課名	直通・内線番号			
	ホームページ		ホームページ				
豊能	池田市	教育部 教育センター	072-751-4971 072-754-6296	子ども・健康部 子育て支援課	072-754-6252	072-752-1111	
				http://www.city.ikedasaka.jp/kurashi_iouhou/life_event/nyugaku_nyuen/002710.html			
	箕面市	教育委員会事務局 子ども部 子育て応援担当 教育委員会事務局 生涯学習部 中央図書館		(おおさか元気広場及び学童保育) (おおさか元気広場のみ)		072-724-6736 072-722-4580	072-723-2121
		http://www.city.minoh.lg.jp/ouen/asobiba/asobiba.html http://www.city.minoh.lg.jp/library/ibasho/top.html		http://www.city.minoh.lg.jp/ouen/gakudou1.html			
	能勢町	生涯学習課	072-734-2452	教育委員会 こども未来課	072-734-0107	072-734-0001	
		http://www.town.nose.osaka.jp/2/5/1245/001246.html					
豊能町	教育支援課	072-739-3427	教育委員会 教育総務課	072-739-3426	072-739-0001		
			http://www.town.toyono.osaka.jp/www/contents/1256270603242/index.html				
三島	吹田市	地域教育部 青少年室	06-6384-2157	児童部 こども部 こども育成室 児童育成課	06-6384-1599	06-6384-1231	
				http://www.city.suita.osaka.jp/home/soshiki/div-kodomo/jidoikusei.html			
	茨木市	教育総務部 青少年課	072-622-5180	こども育成部 学童保育課	072-620-1801	072-622-8121	
		http://www.city.ibaraki.osaka.jp/kikou/kyoikuinkai/kyoikuusoumu/seishonen_vagai/menu/hokagokodomo/index.html		http://www.city.ibaraki.osaka.jp/kikou/kodomoikusei/gakudo/index.html			
摂津市	次世代育成部 こども教育課	06-6383-1184	教育総務部 子育て支援課	06-6383-1980	06-6383-1111		
	http://www.city.settsu.osaka.jp/0000000445.html						
島本町	生涯学習課	075-962-0792	教育委員会事務局 学校教育課	075-962-0390	075-961-5151		
			http://www.shimamotocho.jp/kurashi/kyoiku/1238317306465.html				
北河内	守口市	教育委員会 生涯学習部 放課後こども課			06-6995-3160	06-6992-1221	
		http://www.mkc.zaq.ne.jp/mori_kyouiku/kodomoclub.htm					
	枚方市	教育推進室 教育指導課	050-7105-8052	子ども青少年部 放課後児童課	(内線3717)	072-841-1221	
		http://www.city.hirakata.osaka.jp/soshiki/kysidou/jigakujiisvuisutemu.html		http://www.city.hirakata.osaka.jp/life/1/13/45/			
	寝屋川市	社会教育部 地域教育振興課	072-813-0075	教育委員会 社会教育部 社会教育課	072-838-5355	072-824-1181	
http://www.city.nevagawa.osaka.jp/index/soshiki/tiiki-kyoiku/hokagokoyousitu.html							
大東市	生涯学習部 生涯学習課	072-870-9105	生涯学習部 生涯学習課 (H25.4月～)	072-870-9105	072-872-2181		
			http://www.town.taishi.osaka.jp/guide/kyoiku/hokago.html				
門真市	生涯学習部 地域教育文化課	06-6902-7139	健康福祉部 子ども課	06-6902-6404	06-6902-1231		
			http://www.city.kadoma.osaka.jp/kenkofukushi/jidoboshi/hokago_club.html				

北河内	四條畷市	教育委員会 教育部 青少年課		(内線873)	072-877-2121
		http://www.city.shijonawate.lg.jp/h130101/fixed/11/04/110401.htm			
北河内	交野市	教育委員会 生涯学習推進部 青少年育成課		072-892-7721 (音声ガイダンス)	072-892-0121
		_____		http://www.city.katano.osaka.jp/docs/2011072100206/	
中河内	八尾市	こども未来部 青少年課	072-924-3874	こども未来部 青少年課 放課後児童育成室	072-992-2350
		http://www.city.yao.osaka.jp/0000002049.html		http://www.city.yao.osaka.jp/soshiki/6-16-0-0-0_1.html	
中河内	柏原市	教育委員会 生涯学習部 社会教育課		072-972-1688	072-972-1501
		_____		http://www.city.kashiwara.osaka.jp/shakaikyoiku/houka.go.htm	
南河内	富田林市	生涯学習部 社会教育課	0721-24-1451	子育て福祉部 子育て支援課	(内線203)
		_____		http://www.city.tondabayashi.osaka.jp/contents4/category12/10.html	
南河内	河内長野市	教育推進部 青少年育成課	0721-54-0005	教育推進部 青少年育成課	0721-54-0005
		平成25年度中に作成予定		http://www.city.kawachinagano.lg.jp/kakuka/kyouikusuisin/seisyounen/gyoumu/jidokai/index.html	
南河内	松原市	生涯学習部 地域教育振興課	072-337-3133	生涯学習部 青少年課	072-337-3134
		_____		http://www.city.matsubara.osaka.jp/8.2085.91.378.html	
南河内	羽曳野市	生涯学習室 社会教育課	内線4450 4451 4452	教育委員会 生涯学習室 社会教育課	072-947-3905
		http://www.city.habikino.lg.jp/10kakuka/34shakaikyoiku/houkagokyouyousitu.html		_____	
南河内	藤井寺市	教育委員会 教育部 生涯学習課		(内線6230 ~6231)	072-939-1111

南河内	大阪狭山市	教育委員会 教育部 社会教育・スポーツ振興グループ		(内線823 ・824)	072-366-0011
		_____		http://www.city.osakasavama.osaka.jp/6.18644.28.122.html	
南河内	太子町	教育委員会 生涯学習グループ	0721-98-5534	福祉室 福祉グループ	0721-98-5519
		_____		http://www.town.taishi.osaka.jp/mokuteki/syo_tvugakko/1361950153332.html	
南河内	河南町	教・育部 教育課	(内線174)	教・育部 こども1ばん課	(内線161)
		http://www.town.kanan.osaka.jp/kakuka/oshirase/kyouikuka/syakai/kyouiku/kakari/004476.html		http://www.town.kanan.osaka.jp/mokuteki/5/syo_chu2/houkago_s.html	
南河内	千早赤阪村	教育委員会事務局 教育課		0721-72-1300	0721-72-0081

泉北	泉大津市	教育委員会 生涯学習課		0725-33-1131	0725-33-1131	
		http://www.city.izumiotsu.lg.jp/kodomoseitvou/svoutvuugakkou/1304665557453.html				
	和泉市	教育委員会 生涯学習部 生涯学習課		0725-99-8161/8162	0725-41-1551	
		【市ホームページ（留守家庭児童会のページ）】 http://www.city.osaka-izumi.lg.jp/lifeevent/kosodate/1323072632221.html 【生涯学習情報館】関連記事の掲載 http://izumi-kids.net/izumi/user/syogaku/blog/showDetail.do				
高石市	教育部 生涯学習課		(内線2740)	072-265-1001		
	http://www.city.takaishi.lg.jp/kakuka/kyouiku/syougai_gakusyu_ka/lifelongstudy/aozora.html					
忠岡町	生涯学習課	(内線285)	教育委員会 教育総務課	(内線282)	0725-22-1122	
	http://www.town.tadaoka.osaka.jp/ (児童学級入会案内の掲載)					
泉南	岸和田市	生涯学習部 生涯学習課	072-423-9616	児童福祉部 児童育成課 (放課後こども担当)	072-423-9610	072-423-2121
		http://www.city.kishiwada.osaka.jp/site/kvoudou/houkago-kodomo.html		http://www.city.kishiwada.osaka.jp/soshiki/34/h24gakudou.html		
	貝塚市	社会教育課	072-433-7125	健康福祉部 児童福祉課	072-433-7024	072-423-2151
		http://www.city.kaizuka.lg.jp/kakuka/kvoiku/shakaikyoiku/menu/houkagokodomokvousitu/kaku_kvousitu_goannai.html		http://www.city.kaizuka.lg.jp/kakuka/kenkohukushi/iido_fukushi/menu/rusu/index.html		
	泉佐野市	教育部 学校教育課	(内線2332)	こども部 子育て支援課	(内線2385・2386)	072-463-1212
		http://www.city.izumisano.lg.jp/kakuka/kodomo/kosodate/menu/gakudou.html				
	泉南市	教育部 青少年センター	072-484-3500	教育委員会 教育部 生涯学習課	072-483-2582	072-483-0001
	阪南市	教育委員会 生涯学習部 生涯学習推進室			072-471-5678	
		http://www.city.hannan.lg.jp/kakuka/svogai/svogais/gakudohoiku.html				
熊取町	生涯学習推進課	072-453-0391	健康福祉部 子ども家庭課	072-452-6293	072-452-1001	
田尻町	社会教育課	072-466-0030	教育委員会 こども課	072-466-5013	072-466-1000	
岬町	指導課	072-492-2719	しあわせ創造部 子育て支援課	072-492-2709	072-492-2001	

● 大阪府放課後子どもプラン推進委員会

◆ 委 員

名 前	役 職 等
加藤 美穂代	池田市教育委員会事務局教育部教育センター長
増田 作	茨木市教育委員会事務局生涯学習部青少年課長
岩佐 昌史	柏原市教育委員会事務局生涯学習部社会教育課長
朝倉 幸博	貝塚市健康福祉部児童福祉課参事
小西 昭	茨木市子ども育成部次長兼学童保育課長
新 貴博	島本町教育委員会事務局学校教育課長
吉原 孝	大阪府教育委員会事務局市町村教育室地域教育振興課長
福山 喜彦	大阪府福祉部子ども室子育て支援課長

◆ アドバイザー

名 前	役 職 等
園田 雅春	大阪教育大学教授
若菜 昌一	大阪府小学校長会副会長
更屋 祥吾	コーディネーター代表
前田 美子	大阪学童保育連絡協議会副会長

● 大阪府放課後子どもプラン実践事例集作成に係る検討会

名 前	役 職 等
小林 弘典	池田市教育委員会事務局教育部教育センター指導主事
鈴木 義和	茨木市教育委員会事務局生涯学習部青少年課指導主事
中西 弘	柏原市教育委員会事務局生涯学習部社会教育課指導主事
朝倉 幸博	貝塚市健康福祉部児童福祉課参事
小西 昭	茨木市子ども育成部次長兼学童保育課長
新 貴博	島本町教育委員会事務局学校教育課長

(平成 25 年 3 月末現在)

大阪府放課後子どもプラン実践事例集



大阪府教育委員会事務局 市町村教育室 地域教育振興課
大阪府福祉部 子ども室 子育て支援課

〒540-8571

大阪府中央区大手前 2 丁目

電話 06-6944-6901